

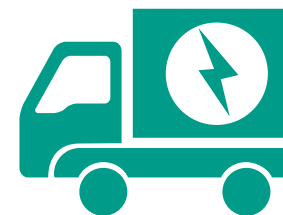
6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業〈環境配慮型先進トラック（電気自動車）導入事業〉

③EVトラック導入によるゼロカーボンシティに向けた取り組み

事業概要

事業者概要	事業者名	株式会社東洋食品 (ダイムラー・トラック・ファイナンシャルサービス・アジア株式会社)
	業種	対事業所サービス
事業所	所在地	埼玉県
	総延床面積	-
補助金額	補助金額	約1,049万円
	補助率	2/3 (掛かり増し経費に対する)
主な導入設備	従前設備	ディーゼルトラック
	導入設備	EVトラック1台 (8トン未満)
事業期間	稼働日	2021年8月
区分		新設
特長		久喜市の要請により給食センターの配送用車両としてEVトラックを導入した。給食配送車としては日本で初めてであり、久喜市の環境対策姿勢又は方針は、他の市町村への波及効果が期待される。また、給食配送車はいろんな小中学校を回るので、環境に優しく騒音が少ないEVトラックは最適と考えられる。

システム図



【EVトラック】

写真

EVトラック



6.1 環境配慮型先進トラック・バス導入加速事業〈環境配慮型先進トラック（電気自動車）導入事業〉

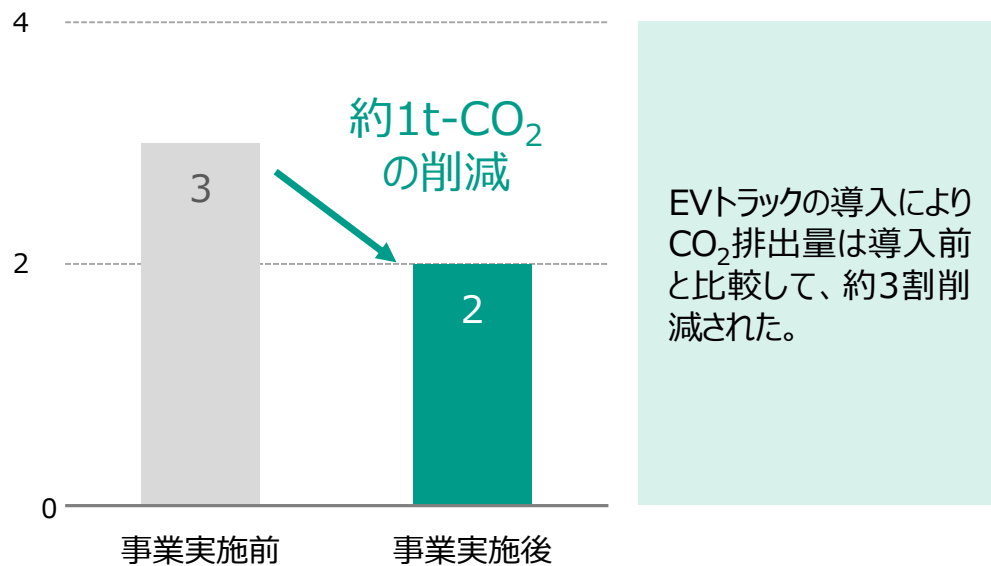
③EVトラック導入によるゼロカーボンシティに向けた取り組み

事業の効果

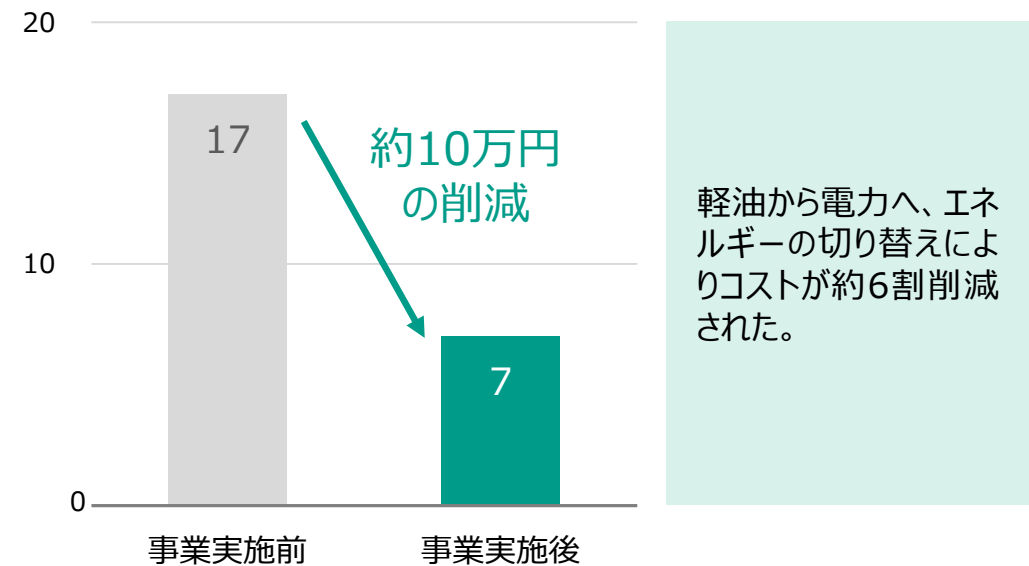
エネルギーコスト削減額		約10万円／年
投資回収年数	補助あり	約102年
	補助なし	約170年

CO ₂ 削減量	約1t-CO ₂ ／年
CO ₂ 削減コスト	1,568,700円／t-CO ₂

CO₂排出量 (t-CO₂／年)



エネルギーコスト (万円／年)



【脚注】

※ ここに示す事業の効果は、電力単価：15.2円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会）、軽油単価：142,000円／kL（出典：資源エネルギー庁HP）を用いて試算したものである。また、事業実施前は同サイズのディーゼルトラックを想定して試算をした。

③EVトラック導入によるゼロカーボンシティに向けた取り組み

事業によって実現できたこと／事業前にあった課題及びその解決方法

■「EVトラックの新規導入」によって、CO₂削減以外に、以下のような副次的効果があった。

- ・ 久喜市がゼロカーボンシティ宣言を行い環境への取り組みを進める中でEVトラックを導入した。給食センターの配送用車両としては日本で初めてであり、久喜市の環境対策姿勢又は方針が他の市町村へ波及することが期待される。
- ・ 給食配送車は市内の様々な小中学校を回るため、環境に優しく騒音が少ないEVトラックは最適と考えられる。天候によって走行距離は異なるが、一回の充電で80km程度走行可能である。
- ・ 従来車両よりも加速性能に優れ、運転しやすくなった。

地方自治体のPRになり、他の市への波及効果がある



久喜市の要請によりEVトラックを導入し、他の市への波及効果があり、**宣伝効果が高い**。

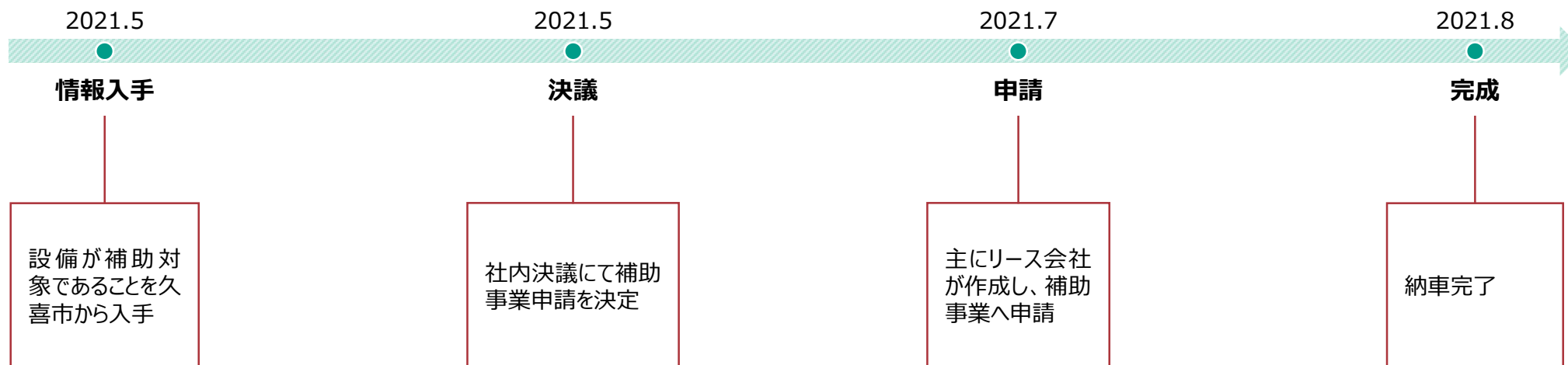
学校の給食配送車として最適



環境性や静粛性が学校給食配送車として適している。

③EVトラック導入によるゼロカーボンシティに向けた取り組み

事業の経緯／今後の予定



事業者の声



渡邊 弘行

株式会社東洋食品 久喜市立学校給食センター業務責任者

- EVトラックは、顧客である久喜市がゼロカーボンシティ宣言を行い環境への取り組みを進める中で導入したものであり、給食センターの配送用車両としては日本で初めてです。環境に優しく、騒音が少ない電動トラックは学校給食配送車として最適と考えられます。また、市内の様々な小中学校をまわり、脱炭素社会に向けた取り組みの宣伝活動としても貢献しています。